

【学校の教育目標】 志を持ち 学びを生かす 庄内っ子の育成～ふるさとを愛し 平和を愛する子～

【育成を目指す資質・能力】 伝え合う力

重点目標	達成指標	分担	重点的取組	取組指標	学習指導要領が目指す資質・能力との関連		
				誰が・何を・どれくらいの頻度で	知識及び技能	思考力・表現力・判断力	学びに向かう力・人間性等
基礎・基本を確実に身につける子の育成	○「授業の内容が理解できた」肯定する児童を75%以上にする。 ○単元末テストの目標値(70点)に到達する児童を75%にする。	学校	○基礎・基本の定着	○授業者は単元末テスト後のステップ学習では、誤答傾向から、個に応じたやり直し問題を行わせ、学習内容の理解を深めさせる。 ○授業者は単元末テスト後、誤答傾向から、必要な全体指導・個別指導を行いやり直しを必ず行う。 ○授業者は毎時間、めあて・課題を子どもと設定し、学習の終末で視点を明確にした振り返りを行う。	○		○
		家庭	○家庭学習の充実	○保護者は、「西庄内小学校 家庭学習の約束」をもとに、学年に応じた宿題の声かけ・見とりを毎日行う。	○		
自信を持つ 対話的に学べる子の育成	○「友だちにわかるように自分の考えが伝えられた」肯定する児童を75%以上にする。 ○「友だちの話を聴き、友だちの考えがわかった」肯定する児童を75%以上にする。 ○「友だちと話し合うことで、自分の考えが変わったり深まったりした」肯定する児童を70%以上にする。	学校	○表現力を伸ばす指導	○授業者は単元の中で、子どもが自分の考えを進んで伝えたり説明したりする場を設定し、対話的に課題解決を図る。 ○授業者は、ペア・グループ等による対話的な課題解決の際に、児童が意見の交流だけに終わらないよう、必ず質問や他の考えを伝えるなどの議論できる場を設定し、その振り返りを行う。		○	
		家庭	○家族ふれあい	○保護者は「家族団らん推進週間」(学期に1回)の中で、子どもとのふれあい(食事・テレビ・読書・お出かけ等)に意図的に取り組む。			○
		地域	○教育支援	○CS委員は、学校と重点目標を共有し、教科・総合的な学習などの具体的な支援(GT, GTをコーディネート)を行う。			○
認め合い思いやりがある子の育成	○「学校が楽しい」肯定する児童を80%以上にする。 ○「友だちが自分のいいところや頑張りを認めてくれた」肯定する児童を80%以上にする。	学校	○認め合い・思いやりがある集団づくり	○学級担任は、月2回以上「なかよしタイム(人間関係づくりプログラム)」に取り組む。 ○学級担任は、月に1回以上、特活の時間を中心に、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを行う。		○	
			○道徳の重点項目指導の見える化 A希望と勇気、努力と強い意志 B親切、思いやり	○担任は重点項目の指導をし「がんばり・やさしさの木」に継続的に取り組む。			○